

堺市障害者スポーツ大会 実施要項

個人競技

1) 実施競技・対象者

競技	身体	知的	内部		精神	身体 (身体障害者手帳を有さない特別支援学校・支援学級在籍者)	ジュニアの部 (小4～中1)
			ぼうこう又は直腸障害のみ	ぼうこう又は直腸障害を除く			
陸上競技	◎	◎	◎	▲	▲	▲	▲
水泳	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲
アーチェリー	◎		◎				
卓球	◎	◎	▲	▲	◎	▲	▲
フライングディスク	◎	◎	◎	▲	▲	▲	▲
ボウリング	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲

◎…全国障害者スポーツ大会正式競技 ▲…堺市が独自に実施しているオープン競技
 ※全国障害者スポーツ大会堺市代表選手の選考を兼ねるのは、◎の正式競技のみとする。
 ※アーチェリー競技は大阪府との共催のため、堺市独自で実施しているオープン競技を設けない。

2) 参加資格

上記の1)をご覧になりながら、ご確認ください。

本大会に参加できる選手は、次の条件を満たすものとする。

- ア 令和2年4月1日現在13歳以上の身体、知的、精神障害者。ただし、ジュニアの部については、令和2年4月1日現在9歳以上12歳以下の身体・知的・精神障害者とし、オープン参加とする。
- イ 堺市内に現住所を有する者、堺市内の施設等に入所及び通所している者、並びに堺市内の学校に通学している者。
上記アにおける「身体、知的、精神障害者。」は以下の条件を満たすものとする。
- ウ 身体障害者は身体障害者手帳の交付を受けた者。ただし、内部障害（障害種別により正式競技の場合がある）・身体障害者手帳取得の対象に準ずる者※1については、オープン参加とする。
- エ 知的障害者は療育手帳の交付を受けた者あるいは、療育手帳取得の対象に準ずる者※2。
- オ 精神障害者は精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院）受給者証の交付を受けた者。卓球競技以外に出場する精神障害者はオープン参加とする。

※1 特別支援学校、特別支援学級に在籍している者。

※2 知的障害者（児）社会福祉施設、特別支援学校、特別支援学級等に在籍している者。

3) 競技方法・運営（各競技に関することは、9ページ以降の各競技別記載事項をご確認ください）

- ア 実施競技は全国障害者スポーツ大会開催基準に従う。なお、競技規則に定められた競技・種目のうち競技運営等から実施困難なものがある場合は実施しない。
- イ 年齢により出場区分が異なる。（アーチェリー競技、卓球競技 精神障害の区分、フライングディスク競技は除く。）
 - ①身体障害者・精神障害者
1部：39歳以下、2部：40歳以上、ジュニアの部：9歳以上12歳以下に分けて競技を実施する。
 - ②知的障害者 少年：19歳以下、青年：20歳～35歳、壮年：36歳以上、ジュニアの部：9歳以上12歳以下に分けて競技を実施する。
- ウ 予選は行わず、1回の決勝競技のみとする。
- エ 卓球競技においてトーナメント形式の競技を行った場合は、3位決定戦を行う場合もある。
- オ 原則として8名までの組ごとに競技を行う。ただし、陸上競技の人数は10名までとする。
- カ 出場選手の少ない競技種目は、別の障害・年齢区分の者と一緒に競技することがある。この場合、順位の決定と記録の認定及び表彰は、それぞれの障害・年齢区分ごとに行う。
- キ 介助等の目的により競技場内に入場できる者は、あらかじめ主催者の承認を得た者に限られる。また、競技場内で係員の指示に従うこと。

4) 実施競技・開催日・会場（受付場所）・受付時間等

競技	開催日	会場（受付場所）	受付時間	ウォーミングアップ時間	開会式／開始式	終了予定
陸上競技	5月5日 （火・祝）	金岡公園陸上競技場 （南側入口）	9：30～ 10：00	9：30～ 10：00	10：00 総合開会式	16：00頃
卓球	5月9日 （土）	健康福祉プラザ 体育室 （体育室前）	9：30～ 10：00	9：30～ 9：50	10：00	15：00頃
水泳	5月10日 （日）	健康福祉プラザ プール （スポーツセンター受付）	9：30～ 10：30	9：30～ 10：20	10：30	13：00頃
フライング ディスク	5月16日 （土）	大阪府立障がい者 交流促進センター ファインプラザ大阪 （グラウンド）	12：00～ 13：00	12：00～ 12：50	13：00	16：00頃
アーチェリー	5月17日 （日）	浜寺公園 アーチェリー場 （アーチェリー場）	9：00～ 10：00	開始式後に 公式練習有	10：00	12：00頃
ボウリング	5月23日 （土）	ラウンドワン 泉北店 （2階）	9：00～ 9：30	開始式後に 公式練習有	9：30	12：00頃

（注意）受付を完了していない選手は、競技に出場できないので注意すること。（時間厳守）

5) 出場競技数

1人2競技まで出場することができる。（例：陸上と水泳に出場等）また、陸上・水泳・フライングディスク競技は、同一競技内で2種目まで出場できる。（例：水泳競技の25m自由形と25m背泳ぎ等）

6) 雨天・荒天時の取り扱い

雨天決行。ただし、荒天時の取り扱いは、運営者において決定する。

陸上競技は7：00、その他の午前開催競技は8：00、午後開催競技は10：00の判断とする。

7) 表彰

ア 表彰は、種目終了後又は、競技終了後すぐに行う。

イ 1位から3位の者にメダルを授与する。

ウ 記録については、後日記録集を発行し正式発表とする。

8) ゼッケン・ID・ナンバーカード

ア 出場選手は競技用の服装に必ずゼッケンをつけること。水泳競技の出場者は、IDを首から下げることにする。

イ ゼッケン、ID、ナンバーカードは主催者で用意し、大会当日に配布する。

ウ ゼッケン・IDの色は部門ごとに次の通りとし、部門が重複している場合には、出場する部門の色の番号布を使用し、布地の下方3分の1に他の重複する部門の色を表示する。

エ 陸上競技の競争競技については、主催者が用意する腰ナンバーカードをつけることとする。

部門	色	部門	色
肢体不自由者	白色	知的障害者	桃色
視覚障害者	薄緑色	内部障害者	水色
聴覚・平衡、音声・言語、 そしゃく機能障害者	黄色	精神障害者	薄紫色
		身体障害者（障害者手帳有さない者）	クリーム色
		ジュニアの部	オレンジ色

9) 参加申込

- ア 第15回堺市障害者スポーツ大会参加申込書にご記入のうえ、①堺市障害施策推進課に持参、または②健康福祉プラザスポーツセンターへ持参、郵送、FAXで申し込むこと。
- ・持参される場合、記載内容確認のために障害者手帳等確認できるものを持参すること。
 - ・郵送の場合、記載内容確認のために障害者手帳等の写しを同封すること。
 - ・FAXの場合、記載内容確認のために障害者手帳等の写しを添えて申し込みすること。
- また、必ず送信確認をすること。
- イ 参加費は無料。
ただし、ボウリング競技出場者、支援者がボウリングシューズの借用を希望する場合は、当日会場にて実費380円を支払うこと。
- ウ 申込締切は令和2年3月25日(水) 必着とする。
- エ 申込受付可能日
- ①堺市障害施策推進課は土、日、祝日を除く。(平日9:00~17:00)
 - ②堺市立健康福祉プラザスポーツセンターへ持参する場合は火曜日を除く。(水曜日~月曜日9:00~20:30) 火曜日にFAXで申込まれた方は、翌水曜日に送信確認をすること。
- オ 申込内容の変更は、令和2年4月1日(水) 17:00までとする。

10) 申込に関する問い合わせ

堺市立健康福祉プラザ スポーツセンター 担当：藤田・関
【住所】 〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号
【TEL】 072-275-5029 【FAX】 072-243-4545
【HP】 <http://www.sakai-kfp.info>

11) 大会当日の問い合わせ

内容	連絡先(電話番号)	
荒天などによる開催確認 全競技の欠席連絡	スポーツセンター	072-275-5029

12) その他

- ア 本大会は第20回全国障害者スポーツ大会堺市代表選手の選考会を兼ねている。選考の結果は、全員に通知する。選考された場合は、説明会2回、強化練習会4回へ必ず参加すること。選考された選手の健康状態に重大な問題があると堺市が判断した場合は、必要に応じて代表の決定を取り消す場合がある。
なお、全国障害者スポーツ大会主催県より参加枠を与えられなかった競技については、選考を行わないものとする。
- イ 2競技に出場する選手については、両方の競技を選考の対象とすることができる。ただし、全国障害者スポーツ大会へ堺市代表選手として選考されるのは1競技のみとし、選考の希望順を申込用紙に記入すること。
- ウ オープン参加により、出場した者については、全国障害者スポーツ大会の堺市代表選手選考の対象外とする。
- エ 競技用の服装、競技用具及び競技に関する抗議については、全国障害者スポーツ大会競技規則及び各競技実施要領(競技者注意事項を含む。)に従うこと。
- オ 選手の参加資格及び障害区分については、抗議することはできない。ただし、運営者においてこれに疑義が生じた場合は、資格審査又は医学的検査を行い、失格又は障害区分及び組み合わせの変更を行う場合がある。
- カ 出場選手の個人情報については、本大会を安全かつ円滑に開催することを目的に使用するものであり、プログラム・記録集等には、ゼッケン番号・氏名・性別・障害種別(身体/知的/精神/ジュニアの部)・障害区分番号・部別・記録(順位)を掲載する。
なお、本大会及び全国大会に関連する広報誌やホームページ、市が主催する障害者スポーツの普及・啓発を目的とした事業及び刊行物、市が資料提供する記事、テレビ・新聞などマスコミの報道等にも、選手ご本人の氏名・性別・障害種別・写真・映像等が掲載されることがある。これらの点についてあらかじめ了承のうえ、申し込むこと。
- キ 出場選手は、大会参加にあたり、健康状態に不安がある場合には医師の診断を受ける等、体調管理に万全を期すこと。大会参加時に健康状態に異常が見られる場合には、大会への参加を認めない場合がある。また、申込日より大会までの間に心身の状態に変化があった場合は至急申し出ること。
- ク 大会当日の傷害、疾病、事故等については、応急手当以外は主催者において一切の責任を負わないので、健康と安全については各自十分注意すること。

団体競技（全国障害者スポーツ大会正式競技）

1) 実施競技・開催日・会場・受付場所・受付時間等

競技	開催日	会場・受付場所	受付時間	開始式	ウォーミングアップ時間	終了予定
バレーボール (精神・知的) ※ソフトバレーボール使用	4月3日(金)	健康福祉プラザ 体育室	13:00～ 13:20	13:30	開始式後に 公式練習有	16:00頃
バスケットボール (精神・知的)	4月12日(日)	健康福祉プラザ 体育室	10:00～ 10:20	10:30		13:00頃
ソフトボール (精神・知的)	4月26日(日) 予備日(4月29日)	金岡公園野球場	10:00～ 10:20	10:30		16:00頃

2) 参加資格

- ア 堺市障害者スポーツ団体競技に登録しているチームの内、堺市内に現住所を有する者、堺市内の施設等に
入所及び通所している者、並びに堺市内の学校に通学している者で構成されたチーム。
- イ チーム全員が令和2年4月1日現在13歳以上の知的・精神障害者※1で構成されたチーム。チーム代表者
1名は堺市内に現住所を有する者か堺市内の施設等に入所及び通所している者か堺市内の学校に通学し
ている者（他メンバーは制限なし）であること。（オープン参加とする。）
- ウ 令和2年4月1日現在13歳以上の知的・精神障害者※1は個人で申込可能。（オープン参加とする。チ
ーム構成は主催者側で調整する。）
- ※1 P.1 2) の参加資格を参照。

3) 競技方法・運営

令和2年度全国障害者スポーツ大会競技規則並びに、本大会の申し合わせ事項に基づき実施する。

4) 荒天時の取り扱い

荒天時の取り扱いは運営者において決定する。午前開催競技は8:00、午後開催競技は9:00の判断とする

5) 表彰

- ア 表彰は競技終了後行う。
- イ 1位から3位のチームに賞状を授与する。

6) 参加申込

- ア 団体登録チームはチーム代表者に送られる申込用紙にて申し込むこと。
- イ オープンチームと個人申込みの場合は、第15回堺市障害者スポーツ大会参加申込書にご記入のうえ、
①堺市障害施策推進課に持参または、②健康福祉プラザスポーツセンターへ持参、郵送、FAXで申し
込むこと。
- ・持参される場合、記載内容確認のために障害者手帳等確認できるものを持参すること。
 - ・郵送の場合、記載内容確認のために障害者手帳等の写しを同封すること。
 - ・FAXの場合、記載内容確認のために障害者手帳等の写しを添えて申し込みすること。
- また、必ず送信確認をすること。

ウ 参加費は無料。

エ 申込締切

- ・バレーボール **令和2年3月20日(金・祝)** 必着 ・ソフトボール **令和2年4月12日(日)** 必着
・バスケットボール **令和2年3月29日(日)** 必着

オ 申込受付可能日

- ①堺市障害施策推進課は土、日、祝日を除く。(平日9:00～17:00)
②堺市立健康福祉プラザスポーツセンターへ持参する場合は火曜日を除く。(水曜日～月曜日9:00～
20:30)火曜日にFAXで申込まれた方は、翌水曜日に送信確認をすること。

7) 申込、大会当日の問い合わせ

堺市立健康福祉プラザ スポーツセンター 担当：藤田・関
【住所】 〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号
【TEL】 072-275-5029 【FAX】 072-243-4545 【HP】 <http://www.sakai-kfp.info>

8) その他

- ア 本大会は第20回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会の選考を兼ねている。近畿地区予選会で優勝
されたら、堺市選手団説明会2回、強化練習会4回へ必ず参加すること。なお、健康状態に重大な問題が
あると堺市が判断した場合は、必要に応じて代表の決定を取り消す場合がある。また、オープン参加の
場合は第20回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会の選考対象外とする。
- イ 出場選手の個人情報については、本大会を安全かつ円滑に開催することを目的に使用するものであり、
プログラムには、氏名・性別・障害種別を掲載する。なお、大会及び全国大会に関連する広報誌やホーム
ページ、市が主催する障害者スポーツの普及・啓発を目的とした事業及び刊行物、市が資料提供する記事
テレビ・新聞などマスコミの報道等にも、選手ご本人の氏名・性別・障害種別・写真・映像等が掲載され
ることがある。これらの点についてあらかじめ了承のうえ、申し込むこと。
- ウ 出場選手は、大会参加にあたり、健康状態に不安がある場合には医師の診断を受ける等、体調管理に万全
を期すこと。大会参加時に健康状態に異常が見られる場合には、大会への参加を認めない場合がある。
また、申込日より大会までの間に心身の状態に変化があった場合は至急申し出ること。
- エ 大会当日の傷害、疾病、事故等については、応急手当以外は主催者において一切の責任を負わないので
健康と安全については各自十分注意すること。

団体競技（堺市オープン競技）

1) 実施競技・開催日・会場・受付場所・受付時間等

競技	開催日	会場・受付場所	受付時間	開始式	ウォーミングアップ時間	終了予定
ポッチャ	5月31日（日）	健康福祉プラザ 体育室	9：30～ 9：50	10：00	9：30～ 9：50	16：00頃
ふうせん バレーボール	6月7日（日）		9：30～ 9：50	10：00	9：30～ 9：50	16：00頃

※ポッチャ、ふうせんバレーボールの普及を目的とし、出場される方々の交流を深める大会です。

2) 参加資格

【ポッチャ】

区分1：堺市内に現住所を有する者、堺市内の施設等に入所及び通所している者、並びに堺市内の学校に通学している者の内、脳性麻痺の車椅子使用者。

区分2：チーム代表者1名が堺市内に現住所を有する者か堺市内の施設等に入所及び通所している者か堺市内の学校に通学している者（他メンバーは制限なし）で、チーム内全ての選手が脳性麻痺以外で車椅子使用者。

区分3：チーム代表者1名が堺市内に現住所を有する者か堺市内の施設等に入所及び通所している者か堺市内の学校に通学している者（他メンバーは制限なし）で、チーム内の半数以上が障害者（児）。

【ふうせんバレーボール】

区分1：堺市内に現住所を有する者、堺市内の施設等に入所及び通所している者、並びに堺市内の学校に通学している者で、ハンディレベルの持ち点合計が18点以内でプレーできるチーム。

区分2：チーム代表者1名が堺市内に現住所を有する者か堺市内の施設等に入所及び通所している者か堺市内の学校に通学している者（他メンバーは制限なし）で、チーム内の半数以上が障害者（児）。

3) 競技方法・運営

ア 本大会は堺市障害者スポーツ大会団体競技オープン競技大会の申し合わせ事項にて実施する。

イ 区分毎のトーナメント方式を原則とするが、チーム数によっては交流試合を行う場合がある。

4) 荒天時の取り扱い

荒天時の取り扱いは、運営者において決定する。午前開催競技は8：00の判断とする。

5) 表彰

ア 表彰は競技終了後行う。

イ 区分ごとに1位から3位のチームに賞状を授与する。

6) 参加申込

ア チーム名とチーム代表者名を記入すること。・申込締切後チーム代表者へエントリー用紙を送付します。

イ 第15回堺市障害者スポーツ大会参加申込書にご記入のうえ、①堺市障害施策推進課に持参または、健康福祉プラザスポーツセンターへ持参、郵送、FAXで申し込むこと。

・持参される場合、記載内容確認のために障害者手帳等確認できるものを持参すること。

・郵送の場合、記載内容確認のために障害者手帳等の写しを同封すること。

・FAXの場合、記載内容確認のために障害者手帳等の写しを添えて申し込みすること。

また、必ず送信確認をすること。

ウ 参加費は無料。

エ 申込締切は**令和2年3月25日（水）**必着とする。

オ 申込受付可能日

①堺市障害施策推進課は土、日、祝日を除く。（平日9：00～17：00）

②堺市立健康福祉プラザスポーツセンターへ持参する場合は火曜日を除く。（水曜日～月曜日9：00～20：30）火曜日にFAXで申込まれた方は、翌水曜日に送信確認をすること。

7) 申込、大会当日の問い合わせ

堺市立健康福祉プラザ スポーツセンター 担当：藤田・関

【住所】 〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号

【TEL】 072-275-5029 【FAX】 072-243-4545

【HP】 <http://www.sakai-kfp.info>

8) 競技説明・ルール

【ポッチャ】

重度の障害のある方の為に考案されたスポーツで、パラリンピックの公式種目。

赤チームと青チームに分かれ、3人対3人で試合をする。

バドミントンコートより少し小さいコートへ、最初に的になるボールを投げる。的に近づくように、各チームが全部で6球のボールを投げ、的ボールに近いチームが勝ち。

障害によって、投げることができない方は、ランプという補助具を使用して転がすことが許されている。

共通ルール

- ① BISFed 発行「ボッチャルール 2017-2020」（日本ボッチャ協会翻訳）及び本大会申し合わせ事項により実施する。
- ② 1チーム3名以上6名以内とする。（競技は3名で行う）
- ③ 障害により、参加区分が異なる。

区分1（正式）	脳性麻痺で車椅子使用	チーム内全ての選手が区分1に属する
区分2（オープン）	脳性麻痺以外で車椅子使用	チーム内全ての選手が区分2に属する
区分3（オープン）	その他（区分1、2の申込条件を満たさないチーム）	チーム内の半数以上が障害者（児） ※障害のない方も出場可能

- ④ 試合開始前の1分間で投球練習を行う。
- ⑤ 1ラウンド4エンドで実施する。
- ⑥ 4エンド終了後、両チームの得点と同じ場合、タイブレーク（1エンド）を行う。

区分1ルール

- ① 投球方法は、車椅子を使用して投球。

区分2ルール

- ① 投球方法は、車椅子を使用して投球。

区分3ルール

- ① 投球方法は座位、立位どちらでも構わない。
- ② エンド中の選手交代は可能だが、1エンド6投中4投は障害者（児）が投球しなければならない。

【ふうせんバレーボール】

バドミントンコートで鈴の入った直径40cmのゴムふうせんを使用し、チーム6名全員がボールにタッチした後、10回以内で相手コートにボールを返す。

障害のある、なしに関わらず、子どもから高齢者まで、一緒にプレーできる6人制のバレーボール。15点先取するか、規定時間内に多く得点した方のチームの勝ち。

共通ルール

- ① 日本ふうせんバレーボール協会適用ルール及び本大会申し合わせ事項により実施する。
- ② 障害により参加区分が異なる。

区分1（正式）	ハンディレベルの持ち点合計が18点以内	例	(1・1・2・4・4・4) (1・2・3・3・4・4)
区分2（オープン）	ハンディレベルの持ち点合計が18点以上	例	(2・2・3・4・4・4) (1・3・3・4・4・4)

ハンディレベルとは

[レベル1] 障害があるためにボールを追ったり、触れる動作に全面的介助が必要な人

[レベル2] 部分的介助が必要な人 [レベル3] 単独プレーが可能な人 [レベル4] 障害のない人

- ③ 試合時間は、原則として**15分間**を上限とする。
- ④ 得点はラリーポイント制で、15点先取で勝ちとする。（デュースはありません）15点に達さなくても、試合時間終了時点で勝敗を決定する。
- ⑤ コートに入るメンバーは、障害のあるプレーヤー3～4名、障害のないプレーヤー2～3名とする。
また、前列と後列わかれて守る場合、障害のある選手1名は前列で守るようにすること。

9) その他

- ア 出場選手の個人情報については、本大会を安全かつ円滑に開催することを目的に使用するものであり、プログラムには、氏名・性別・障害種別を掲載する。なお、大会及び全国大会に関連する広報誌やホームページ、市が主催する障害者スポーツの普及・啓発を目的とした事業及び刊行物、市が資料提供する記事テレビ・新聞などマスコミの報道等にも、選手ご本人の氏名・性別・障害種別・写真・映像等が掲載されることがある。これらの点についてあらかじめ了承のうえ、申し込むこと。
- イ 出場選手は、大会参加にあたり、健康状態に不安がある場合には医師の診断を受ける等、体調管理に万全を期すこと。大会参加時に健康状態に異常が見られる場合には、大会への参加を認めない場合がある。また、申込日より大会までの間に心身の状態に変化があった場合は至急申し出ること。
- ウ 大会当日の傷害、疾病、事故等については、応急手当以外は主催者において一切の責任を負わないので健康と安全については各自十分注意すること。
- エ 本大会はスポーツの楽しさを体験しながら競技力の向上を図るとともに、障害のある方に対する理解と認識を深め、交流することを目的とする。